

令和4年度（2022年度） 釧路管内どさんこ☆子ども地区会議だより

北海道教育庁釧路教育局義務教育指導班・高等学校教育指導班

令和4年11月26日（土）、北海道釧路商業高等学校を会場に、児童生徒が主体的にいじめ（ネットトラブルを含む）の未然防止に向けて取り組むべき内容を話し合い、管内における「仲良しコミュニケーション活動」の定着と充実に向けた取組を推進することを目的に、小学校、中学校、高等学校の児童生徒、教員、保護者、市町村教育委員会職員等を合わせて約70名が参加し、「釧路管内どさんこ☆子ども地区会議」を開催しました。また、地区会議終了後に、令和4年度「絆づくりメッセージコンクール」の最優秀賞の表彰式も行いました。

実践交流：「いじめ撲滅のための取組」について

各学校で実施している「いじめ撲滅のための取組」についてグループで共有するとともに、共有した内容を全体で交流しました。



【実践交流の様子】

グループ協議：「いじめ撲滅のために私たちができること」について

参加した児童生徒が実践交流で共有した取組等を参考に、いじめ撲滅のためにどのような取組が必要か個人で考えた後、グループで協議を行いました。協議では、それぞれが考えた「いじめ撲滅」に向けたアイデアを出し合いました。また、グループで話し合った内容を、全体に発表することで今後の取組について理解を深めました。

【グループ協議を終えて】

- SNSによるいじめが多いことと、SNSによるいじめは防止しにくいことに気が付きました。SNSによるいじめを防止するためには、助けを求めやすい環境づくりやNGワードを作るなどの案が出ており、よい方法だと思ったので学校などで実践していきたいです。（小学生）
- みんなが協力して楽しみ、活躍できる行事を考えるなどの案がよいと思ったので、学校で話し合って実施したいです。また、他校の人と話し合うことで、よい案を考えることができました。（中学生）
- 生徒会としては、他校の取組を参考にしながら、アンケートを踏まえた取組等を行っていくとともに、個人としては、あいさつを大切にしたいと思います。あいさつは、普段あまり話さない人とも言葉を交わすことができる貴重な機会を生み出します。この機会を大切にすることが、周囲への気配りや小さなトラブルを見つけ解決することにつながると思います。（高校生）



【グループ協議の様子】



【参加者全員で記念撮影】

【本会議に参加した児童生徒の感想】

- 他校で行っている「目安箱」というものを初めて知りました。自分の学校でも「目安箱」などを使い、自分の悩みを気軽に相談できる手段を増やしていきたいです。（小学生）
- 相手が高校生だから少し緊張しましたが、高校生は話が分かりやすく、話しやすい印象でした。また、他校の取組も参考になりました。（中学生）
- いじめに対する考え方をみんなで交流できたので、よい機会となりました。（中学生）
- 他校では、ネットトラブルについて、様々な問題が起こっていることを知り驚きました。また、他校では、いじめ撲滅のために様々な取組をしていたので、自分の学校でも参考して、取り組みたいです。（高校生）
- 小学校で行っている「笑顔の花プロジェクト」などの話を聞き、日頃の感謝を伝える場を用意することで、感謝する側も感謝される側もよい気持ちになり、いじめのない穏やかな雰囲気になると思いました。是非、この活動を高校でも行っていきたいと思いました。（高校生）

☆ 各学校においては、本会議の内容を参考に、望ましい人間関係づくりの充実に向けた取組を推進するようお願いします。